

ECOフォームド		種別	登録技術
		番号	B2401
アスファルト中温化混合物		区分	製品
		機械式フォームドアスファルト 製造方法	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ アスファルトプラントにフォームド装置を設置 ◆ 高温のアスファルトに少量の水を添加(As配管で添加) ◆ 水の添加以外は通常の製造方法と同じ 			
<p style="text-align: center;">アスファルト合材工場概念図 出典:道建協「中温化(低炭素)アスファルト舗装の手引き」</p>			
仕組み			
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 発泡したアスファルトは、見掛けの粘度が低下 ◆ アスファルトの粘度が低下することにより、作業性が向上 ◆ 微細泡のベアリング効果により、締め固め性が向上 ◆ 温度が低下すると泡が消え、混合物への影響はない 			
<p style="text-align: center;">アスファルト(発泡前) フォームドアスファルト</p>			
適用工種 (キーワード)	LEVEL1	道路改良	
	LEVEL2	舗装工	
	LEVEL3	アスファルト舗装工	
	LEVEL4	表層	
従来工法	一般のアスファルト加熱混合物		
技術の概要	<p>ECOフォームドとは、フォームドアスファルト技術と発泡補助剤を組み合わせることで、発泡性能と発泡の持続性を向上させた中温化アスファルト混合物です。高配合率の再生混合物でも使用でき、資源のリサイクルや地球温暖化抑制、CO2削減に貢献する地球にやさしいアスファルト混合物です。ECOフォームドの特徴を以下に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①発泡させることにより、アスファルトの粘度が低下するため、通常より温度を下げて現場の施工性を確保することができる。 ②アスファルト内に残存した微細泡のベアリング効果により、通常より温度を下げて施工しても締め固め度を確保することができる。 ③施工後に温度が低下すれば、泡は無くなり、アスファルトは元の状態に戻るため、交通開放後(混合物)への影響はない。 ④製造・施工温度を最大30℃程度低減することが可能であり、CO2削減に貢献できる地球環境にやさしい中温化(低炭素)混合物です。 		
単価・歩掛	設定	○	準備中
	参考	—	—
実績	R3	—	
	R4	—	
	R5	22件	鰐淵寺線外(平田工区)県単舗装整備工事(出雲県土整備事務所)
他機関評価	一般社団法人日本道路建設業協会中国支部 アスファルト混合物事前審査認定混合物		
問合せ先	会社名	(株)くにびきアスコン・山陰アスコン(株)	
	TEL	(0852)66-0206	
	E-mail	koyama_mitsuo2@plant-g.jp	
技術のURL			
キーワード		品質向上	○
		安全性向上	
		環境負荷低減	○
		コスト削減	
		リサイクル性向上	○